

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公開番号】特開 2001-21832 (P2001-21832A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 26 日 (2001.1.26)
 【出願番号】特願 平 11-195849
 【国際特許分類】

G 0 2 B 27/02 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/02 Z

G 0 9 F 9/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 2 日 (2006.6.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 5】

図 3 は、本発明の装置を現場での点検・調整作業に応用した例である。図 1 と同じものには同じ番号が付してある。図 3 (a) は、本装置を装着した作業者が大型機械 M の点検・調整を行っている状態図で、まず、作業者はマーカ光出射ユニット 5 を ON にして、大型機械 M の交換対象部品や不調な部位にマーカ光 S が当たるようにした状態で、情報処理装置 7 により取り込まれたカメラユニット 4 の撮影画像を動画ファイルあるいは静止画ファイルとして画像メモリ 21 に記録する。また、情報処理回路 7 から送られた画像信号に基づき表示ユニット 3 にて画像表示し、表示光を出射し、コンバイナ 6 に画像情報を表示する。このコンバイナ 6 にて表示される画像は、図 3 (b) に示すもので、スポット (マーカ) 光 S が大型機械 M の点検・調整箇所に重畳されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 8】

さらに、光によるマーキングは単純な点形状のみならず、矢印、十字形、サークル形等であってもよい。また、分割された線分を並べ、その間にターゲットを置くような方式でも良い。また、スポット (マーカ) 光を出射する部位の角度を変更できる構造を追加し、画像の中心以外のポイントを狙って出射できるようにしてもよい。さらに、複数のマーキングとし、それぞれが色の異なる光のスポット (マーカ) としても良い。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 0】

【発明の効果】

本発明によれば、作業の手を止めることなく、作業対象に光でマーキングし、その様子

を画面に取込むことができるようになる。また、取込んだ画像には、ターゲットには光スポット（マーカ）が当たった状態が保管されるため、対象の部位が明確な記録情報や伝達情報とすることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

